

平成29年度第2回八雲町立図書館協議会議の記録

- とき 平成30年1月16日(火) 午後4時00分～午後5時20分
- ところ 八雲町立図書館 2階 集会室
- 出席委員 伊藤一年、石川和子、太田幸恵、見延誠一、小林幸子、山中久江の6名
- 説明員 教育長、館長、職員2名
- 傍聴者 なし

《会議要旨》

1 開会 (進行) 図書館長

2 あいさつ 八雲町教育委員会教育長 田中了治

3 議事 (進行) 図書館長

報告第1号 八雲町立図書館協議会委員の任命について  
図書館長より、説明。

議案第1号 八雲町立図書館協議会 会長・副会長の選任について  
図書館長より、説明。  
伊藤委員を会長に、見延委員を副会長に選任することで一致。  
会長 伊藤一年委員よりあいさつ。

(進行) 伊藤会長

報告第2号 平成29年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 利用状況について  
事務局より、説明。

(委員) 入館者数等は、天候にも大きく左右されるということもある。利用者など減少しているのは確かだが、マイナスの数字だけ見るのもどうなのか。

(事務局) 貸出なく館内閲覧のみの滞在利用増や天候など様々な理由が混在していると考えられる。ある程度の期間を於いて要因を検証する事も必要であると考えている。

報告第3号 平成29年度 八雲町立図書館 施設利用状況について  
事務局より、説明。

(委員) 高校生のテスト前の集会室開放は、集中して勉強できるので良いという声を聞いた。  
(事務局) 今後も利用状況を見ながら、実施していきたい。

報告第4号 平成29年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 事業実施状況について  
事務局より、説明。

(委員) ロビーコンサートに関しては、今年度は生涯学習フェスティバルの一環での実施であり、図書館が主催ではなかったため事業実施状況に反映させていない旨を追加説明。  
ロビーコンサート中は閲覧室にも音が聞こえていたかと思うが、閲覧中の利用者から苦情などはなかったのか？

(事務局) 入り口を半分あるいは全部閉めるなどの対策を行っているが、それでも無音にはできない。しかし、苦情などは受けおらず、ご理解頂いているものと感謝している。聞きにきてくださっている方は大変喜んでいただいているよう。

(委員) 人形劇の観劇に参加したが、子供たちはとても喜んでいました。

(委員) 八雲ではなかなか生で観劇などに触れることがないので、とても良いと思う。

(事務局) 今後もぜひ続けていきたい。

報告第5号 平成29年度 読書感想文・感想画コンクール審査結果について  
事務局より、説明。

(委員) 部門によって数にとってもばらつきがある。高学年の感想画の参加が少ない。絵は多く

- の主催者から募集があるため、指導や振り分けが難しい部分があるのは確かなのだが、もう少し参加が欲しいところではある。
- (事務局) もともと高学年は「感想画」よりも「感想文」の参加のほうが多い。4年生は絵の参加がある程度あったが、5・6年生は比較的少なかった。今年度から中学年(3・4年生)の部を新設したことも原因の一つであると考えられる。
- (委員) 受賞者に八小の生徒が少ないように思われる。応募が少ないのか、単に受賞結果によるものなのか。学校によって取り組み方に温度差が見られるのか。宿題等で本を読むことになっていても、指定された数を消化するという事ではなく年齢に応じた図書を読見込む意欲が必要かと思われる。
- (事務局) コンクールは読書意欲へ働きかけとしての側面もあるが、取り組みに向けた考え方はそれぞれ違いがあろうと思われる。コンクールの応募数については折に触れて増に向けた働きかけについてご意見を頂いている。学校関係会議の機会を通して啓発に向けた協力を仰ぐなど考慮していく。
- (委員) 語彙力の向上のため、より積極的にコンクールへの応募を指導している学校もある。また、学級文庫の配本など、図書館に協力してもらっている。
- (委員) 身近な大人が本を読まない環境は子どもの読書離れにも影響していると考える。
- (事務局) 読書習慣が促されるよう学校・家庭への働きかけを引き続き行っていく。

議案第2号 平成28年度 八雲町教育委員会事務事業評価について  
事務局より、説明。

- (図書館コンピュータシステム更新事業について)
- (委員) セキュリティ対策を行い、サービスの向上が図られているのであれば、システムの充実に向けたコスト増もある程度はやむを得ないのではないかと。何よりも安心して利用できる運用をお願いしたい。
- (事務局) 利用しやすく安心してできるシステムを維持管理していきたい。  
\*二次評価はA。担当課評価の通り。
- (おはなしひろばについて)
- (委員) とても良い取り組みだと思う。ぜひ続けていってほしい。会場となる「おはなしのへや」が天井が吹き抜けのため、他の利用者に配慮してトーンダウンせざるを得ないジレンマが伺える。子どもは狭い場所が好きだと思うので、「おはなしのへや」でもっと遊びたいという子もいるのではないかと。施設構造上残念な点ではある。
- (事務局) 図書館＝静かな場所というイメージも、様々な図書館の在り方が模索される中で、緩和されている傾向もある。旧来のイメージを求めている利用者も多いが、居場所づくりなど図書館に求められているものも多様化しつつある。周りの利用者を配慮しつつ、声も通う図書館づくりということも考えていく必要があるのではないかと。  
\*二次評価はA。担当課評価の通り。

その他 事務局より、説明

- ・子どもの読書活動推進計画の策定について  
平成13年度12月に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、平成25年5月に閣議決定された「第三次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」など、その計画の策定に努める事が謳われている。当町での計画策定に向けた意見徴収など今後協力を仰ぐ旨説明し了承。

その他質疑応答等なし。